

中国 香港特别行政区 UWC 香港校 荒木 さん

留学期間 H3 0.9.1～R 2.5.30

1 留学の成果

去年の2月、UWC ファミリーの一員として選抜され、8月に派遣されてからあつという間に一年が経ちました。これから何が起こるのかは全く予想ができませんが、少しでもいい人生を送れるようにと、慣れない英語と格闘しながらこれからも尽力して行こうと思います。

去年の8月24日、UWC 香港校に来て一番初めに戸惑ったのは、やはり英語の壁でした。福井県内でさえも英語が非常に劣る私は、大野高校を休学してからは単語、文法の学習など、英語の勉強をしっかりと来つつもりでしたが、やはり実践的なものではなく、中学一年で習う“Where is it?”すらも日本人とは違うアクセントに慣れず、聞き返すということがほとんどでした。「今のままではUWCの生徒たちに何一つ勝てやしない、だから人よりも頑張らなければ何もできない」と両親から言われ、また自分でもそう思っていたので、1st term は勉強をとにかくしていました。

年が明けて、2ndterm が始まると、自分でも少しずつ英語に慣れて来たのがわかりました。慣れないところを歩くのが怖くて断り続けていた友人との外出もできるようになっていき、ようやく楽しめそうだな、と思えるようになっていました。しかし同時に、何か違う、しっくりこないものがありました。英語が話せないわけでもなく、友人関係に問題を抱えているのでもない。でも確かに何かがおかしい。そんな悩みは、英語が話せない自分にも積極的に話しかけて来てくれていた中国人の友人のおかげで晴れました。「君は“いい人”すぎる。敵を作らないのはいいが、周りに甘く見られるようになって割を食うぞ」と彼は言いました。どういうわけかわからず、どうしてそう思うのかを聞いたところ、「自分が得た機会を後から来た人に“自分はまたいつでもできるから”と譲るだろう。自分が買って来たものを、全部人とシェアするだろう。相手を困らせるのが嫌で、誰にも頼ろうとしないだろう。程よい我慢は美德だが、君のは自己犠牲だ。」と返ってきました。「頼らない人間には誰も頼れないんだよ」とも付け加えました。この言葉で、自分が引っかかっていたものが何かわかりました。自分でも無意識に、誰かのためにとしてきた行動が、逆に自分を周りから浮かせてしまう原因となっていたのでした。それからは、“Do you need help?”にもある程度は頼るようになりました。初めは相手を困らせないかな、と戸惑っていましたが、時間が経つにつれ自分が尻込みしすぎていると気づきました。1st term の4ヶ月で、香港校の生徒の僕に対する第一印象はきっと“いい奴”で固定されてしまっているので時間はかかりますが、お互いにもっと腹を割って話せる仲になれるように、変わっていきたいと思っています。

夏休みが終わると、香港校では地獄と呼ばれる3rdterm が始まります。プレゼンテーションや論文、大学への申し込みなど、様々な面でやるべきことが増えて来ますが、友人たちにも頼り、そして持ち前の“なんとかする”精神で、乗り越えて行こうと思います。

福井県の奨学金のためにふるさと納税をしてくださっている皆様に感謝の気持ちを伝える方法は、香港校でより多くを学んでくることしかないと思っています。どうかこれからもよろしく願いいたします。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- Mandarin ab (Standard Level)
- English B (Higher Level)
- Economics (Higher Level)
- Chemistry (Higher Level)
- Mathematics (Standard Level)

(2) 課外活動および受賞歴等

- Ensemble
- Sino-Japan Youth Conference (日中青年会議、クラブ活動)
- Ultimate Frisbee (フリスビー部)

3 今後の活動予定

UWC 卒業後は、アメリカやイギリスなどの海外の大学に行き、たくさんの経験を積んで日本に帰国し貢献したいと考えております。海外で得られる日本とは違った価値観が、これからの日本に斬新性と具体性をもたらし、さらなる発展に直結すると思います。これからグローバルになっていく世界においては、決まり切った機械的なことを詰め込むのではなく何事にもすぐに対応する柔軟性、考えの違いを排除するのではなく受け入れ吸収する寛容性、古く非効率な従来の方法に固執せず少しでも効率的に物事を進める努力をする合理性などが必要になってきます。海外などでそのような資質を身に付けていきたいと思っています。

4 記録写真



The Last Music Night にて。日本国内でも国外でも有名になった「君の名は。」のサウンドトラックの一つ、RADWIMPS「スパークル」を披露。

曲だけでなく歌詞まで知っている者もいたほどの人気だったので、大好評だった。

Project Week “Cycle up, TAIWAN”で立ち寄った台湾の有機栽培場にて。

説明を受けた後、経済学の先生(右上、背が高い方)が農場に「知名度の向上政策としてレストランを開いたらどうか」とアドバイスし、採用されたいらしい。



Cultural Evening “APEC”にて。学校では生徒一人一人をCURTURL GROUPに分け、2年に一度、その文化を紹介するイベントが設けられる。

プロモーションのため、写真をとり Facebook上で告知した。